

天然物化学談話会ハラスメント防止宣言

天然物化学談話会は日本の天然物化学研究の発展と若手研究者の交流を目的として1966年から毎年開催されてきた合宿形式の学術会議であり、毎年150から250名の大学院生、大学教員、企業研究員が参加しています。

大学・研究機関を含む社会の様々な組織の中において、セクシャル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメントなど、様々なハラスメントの問題が指摘されています。

特に学術会議では、多様な組織に属する、背景の異なる研究者が大学・研究機関の枠を越えて討論、情報交換を通じた交流をするため、個々の大学・研究機関とは異なるハラスメントが起こる危険性があります。なお、学術会議におけるハラスメントに該当するものとして、講演会、討論会、懇親会、組織運営の過程で、性別、社会的身分、人種、国籍、信条、年齢、職業、学歴・職歴、身体的特徴等に係る言動により、または、教育研究上の力関係や上下関係や優越的地位を利用して行われる言動・行為によって、被害者に不利益や不快感を与え、被害者の尊厳を損なうあらゆる行為が考えられます。学術会議においてハラスメントが起これば、被害者が損害を被るのみならず、目的とする自由で活発な交流の機会も損なわれ、学術の健全な発展は期待できません。

天然物化学談話会は、参加者のハラスメントに対する意識を再度確認・啓発し、参加者にその防止を呼び掛けるとともに、学術会議として、ハラスメント防止のための諸活動に取り組み、参加者が自由に安心して学術交流活動を実施できる場の実現に努めることをここに宣言します。

令和3年9月 天然物化学談話会世話人一同